

Clinical predictors of intracranial injuries in infants with minor head trauma

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2019-06-17 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 大淵, 英徳 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.20780/00032184

主論文の要旨

Clinical predictors of intracranial injuries in infants with minor head
trauma

乳児軽症頭部外傷における頭蓋内出血の予測因子についての検討

東京女子医科大学東医療センター脳神経外科学教室

(指導：糟谷 英俊教授)

大渊 英徳

World Neurosurg. (2017) 98:479-483. DOI: [http://dx.doi.org/10.1016/](http://dx.doi.org/10.1016/j.wneu.2016.11.045)

[j.wneu.2016.11.045](http://dx.doi.org/10.1016/j.wneu.2016.11.045) に掲載

【要 旨】

本研究の目的は、外来受診した 0 か月から 11 か月までの乳児 549 症例について、後方視的に医療記録と画像より頭蓋内出血有無について検討することである。頭蓋内出血は 15 人 (3%) に認め、受傷機転では転落が最多であり、転落の高さ、皮下血腫の大きさ、また皮下血腫部位について有意に頭蓋内出血と相関を認めた。(P=0.0001)。多変量解析では、皮下血腫の存在は有意に頭蓋内出血と強く相関を認めた結果であった (hazard ratio=21.127, P=0.0001)。乳児軽症頭部外傷について転落の高さ、皮下血腫の大きさと部位は頭蓋内出血の予測因子となりえた。また、頭部 CT 等の画像所見は、放射線の影響も考慮される検査であり、今回の研究が頭部 CT 検査施行にあたるうえでの 1 つの指標になりえると考えられた。